

旭川市博物館 講話メニュー

旭川市博物館内でご利用の場合、所要時間は1講話につき30分程度となります。聴講できる最大人数は、一回につき40人となります。

出張講座でご利用の場合、所要時間は1講話につき60分程度となります。

①	題名：神居古潭の文化財と地形・地質の関係 対象：高校生以上
	内容：神居古潭には、道が指定した文化財である「神居古潭竪穴住居遺跡」や市の指定文化財である「神居古潭おう穴群」、「旧神居古潭駅舎」がある他、「神居古潭ストーンサークル」があります。それらと地形・地質の関係性を考えます。

②	題名：上川盆地と扇状地と人の関係 対象：高校生以上
	内容：北海道の北部中央には、北海道最大規模の上川盆地があります。その盆地は複合扇状地でもあります。この扇状地に人が住み始め、駅ができ師団が設置され更に街が発展していく過程で、扇状地は大きな役割を果たします。扇状地とそこに住む人の密接な関係に迫ります。

③	題名：黒曜石から見た大昔の人々の交流と交易 対象：高校生以上
	内容：道内の遺跡からはほとんどの場合、黒曜石でできた石器が見つかります。また溶岩である黒曜石は採れる産地ごとに化学組成が違ってきます。つまり黒曜石製の石器を分析するとどこの産地のものを使っているのかがわかり、黒曜石を介した大昔のネットワークが見えてきます。

④	題名：美瑛の丘は海だった 対象：高校生以上
	内容：丘のまち・美瑛町は、火砕流堆積物によるなだらかで美しい丘陵地が広がるまちとしても知られています。ところが、この美瑛の山からは、今から約1,600万年前の海に棲んでいた貝化石が見つかります。当時の化石を見ながら、私たちが暮らす大地の生い立ちを考えます。

⑤	題名：サケと人にまつわる扇状地の話 対象：高校生以上
	内容：上川盆地には、かつて秋になるとシロザケが遡上し、そのサケを捕獲し交易の品として利用していたアイヌの人々がいました。サケが石狩川河口から内陸155km以上も奥深くまで遡上して、子孫を残してきた理由が地形にありました。私たちの生活に関わっている地形を考えます。

⑥	題名：何故、旭川では地震が少ない？	対象：高校生以上
	内容： 旭川は全国でも地震による揺れが少ない安全な街として知られています。どうして、地震が起きないのか、地震波が伝わりづらいのか。その答えが地下に隠されていました。私たちの生活にも密接に関わってくる地震の揺れと地層の関係をお伝えします。	

⑦	題名：上川百万石と地質のお話	対象：高校生以上
	内容： 上川盆地は百万石と呼ばれるまでに稲作が発展してきました。これを支えたのは品種改良と用水路、肥料や農薬、農機具と機械化であると考えられます。また、脇役として表層の土壌と地下の地質の役割も重要です。今回はその脇役にスポットライトを当てていきます。	

⑧	題名：神居古潭峡谷と石狩川の関係	対象：高校生以上
	内容： 石狩川が神居古潭峡谷を削ったおかげで、アイヌの人々は丸木舟で石狩川を行き来可能となりました。やがて峡谷に道路と鉄路が作られ旭川が大きく発展していきました。もし、石狩川がここになかったら。巨大な火砕流がきっかけで、峡谷ができ旭川が発展した可能性を探ります。	